



EL PRIMERO 誕生 50 周年

50 年の成功を振り返って

第 4 章：

1990 年 - 1999 年：ムーブメントの動きを見せる

ゼニス、ロレックス社との契約を受けて El Primero ムーブメントの生産を再開しました。とはいえ、マニファクチュールにとって、この奇跡のムーブメントを搭載し、文字盤に「Zenith」の名を冠した腕時計を再び製造することで、かつての栄光を取り戻す時が来ていました。それは、ゼニスの主力ラインとなる新しいクロノグラフモデルで始まりました。Academy と Cosmopolitan です。裏蓋を通してゼニスが誇るキャリバーが見えるスルーバックが初めて採用されました。

1988 年には、クロノグラフに特化した De Luca コレクションが登場します。このモデルには、Daytona ウォッチを彷彿させる当時人気を博していたデザインコードを採用しました。ちょうど、El Primero キャリバーを搭載した最初の Daytona シリーズがバーゼルで公開されたばかりで、ゼニスは De Luca とともに 1990 年代をスタートしました。

1991 年、マニファクチュール創業 125 年の 1 年後に、ゼニスはスイス連邦 700 年を記念して El Primero キャリバーの 2 つのバリエーションを搭載した 2 つの限定モデルを発表することにしました。シンプルなデイト表示を備えたクロノメーター認定クロノグラフ（900 本限定）と、デイト表示、月表示、ムーンフェイズ表示を備えたクロノメーター認定クロノグラフ（250 本限定）で、いずれもイエローゴールドケースに収められました。この 2 つのモデルには、いくつかの重要なキーワードを通して伝説のムーブメントの比類ない特性を表現した冊子が添えられていました。「El Primero は、世界最初の自動巻クロノグラフムーブメントで、そのカテゴリーでは 1/10 秒単位の計測を可能にするただ一つのムーブメントです。伝説の El Primero には、この時代のあらゆるノウハウが要約されているのです。」ゼニスはこれらのタイムピースの保証期間を 5 年間としました。自社ムーブメントの品質に絶対の信頼を寄せていたことがうかがえます。

透明なサファイアクリスタルの裏蓋から見える El Primero の姿は、1980 年はほんのわずかでしたが、1990 年代には最高級コレクションの ChronoMaster とともにほぼ全体が明らかになりました。この頃は、工業技術ばかりでなく、時計製造の芸術性を強調する傾向がありましたが、ゼニスは、19 世紀後半から 20 世紀初頭のクロノメーター認定ポケットウォッチにヒントを得たきわめてクラシカルなデザインを追求するようになりました。目標は、原型と呼ぶにふさわしいウォッチを作ることでした。

こうしたクラシズムへの回帰は歴史的経緯からもうかがえます。1990 年代は、世界を分裂させる出来事が目立ちました。旧ユーゴスラビア内戦と、ルワンダ紛争におけるツチ大虐殺で、まるで人類最悪の時期に戻ったかのようでした。その一方で、ネルソン・マンデラの登場で南アフリカの人種差別政策に終止符が打たれたことや、ソ連崩壊が冷戦の終結につながったことは、人々が望むようなより良い世界が生まれつつあることを垣間見せるものでした。未来の見通しを立てることなど不可能です。変わりゆく不確実な世界において、私たちは、安心感



を与えてくれる不変の価値というものに頼ろうとします。これらのモデルが時代を超越している理由はまさしくそこにあるのです。

ChronoMaster は、El Primero ムーブメントの復活に大きな役割を果たしました。このモデルの 1997 年の広告は、妊娠女性のお腹の上に人の手がそっと置かれたポスターに、「このゼニスウォッチは一生動き続けます - いえ、もっと長いかもしれません」という言葉が書かれていました。この腕時計が世代を超えて受け継がれるオブジェであることをほのめかす、メッセージ性の高い広告です。

マーケティング部門にはもう一つの素晴らしいアイデアがありました。各キャリバーに、サファイアクリスタルの裏蓋から見えるように番号を刻印することです。ChronoMaster の購入者はクーポン券を受け取って、マニュファクチュールにこれを返送すると自分の名前が ChronoMaster コレクションの登録簿に記入される仕組みでした。顧客ロイヤルティを育み、愛着心を高める効果的な手段でしょう。ゼニスは、“Love Brand”という言葉が生まれる以前に、「人々から愛され、尊敬されるブランド」になったのです。こうして、冒険は再び始まりました…。

こうしたアプローチはその 2 年後にさらに強化されます。機能は同じまま絶えず改良が施されてきた El Primero に、1997 年、航空機ファンに向けて新たにフライバック機能を搭載した Rainbow Flyback モデルが登場します。ChronoMaster に添えられたメッセージと同様に、Flyback の広告も、世代を超えた継承というテーマを意識した、次のようなものでした「これからは、飛行への情熱以上に、後世に伝えていくものがあります」。